

平成 26 年 1 月 16 日

Java のアップデートで認証キーが使えない場合の対処法について

Java を最新バージョン（1. 7. 0_5 1）にアップデートするとセキュリティ機能が強化された関係で、サンデックスの認証アプリケーションがブロックされるようになります。

万が一アップデートしてしまった場合は、Java のコントロールパネルの設定でこの機能を無効にする必要があります。以下に手順を示します。

1. スタート → 設定 → コントロールパネル を表示
2. コントロールパネル中の Java アイコンをクリックする。表示方法がカテゴリになっていると Java アイコンは未表示なので「大きいアイコン」を選択してからクリックする
3. Java コントロールパネルが表示されるので、（図 1 参照）

Java Plug-in

次世代の Java Plug-in を有効にする（ブラウザの再起動が必要）

のチェックを外す。

4. チェックを外すと「次世代プラグインを無効にしますか。」と表示されるので「無効化」ボタンを押し、「適用」ボタンを押し（図 2 参照）
5. Window 7、8、Vista などをお使いの場合は「次のプログラムにコンピュータへの変更を許可しますか？」との警告が出るので「はい」を押し

なお、本設定により新バージョンで強化された Java のセキュリティ機能は無効化されることをご了解願います。

図 1

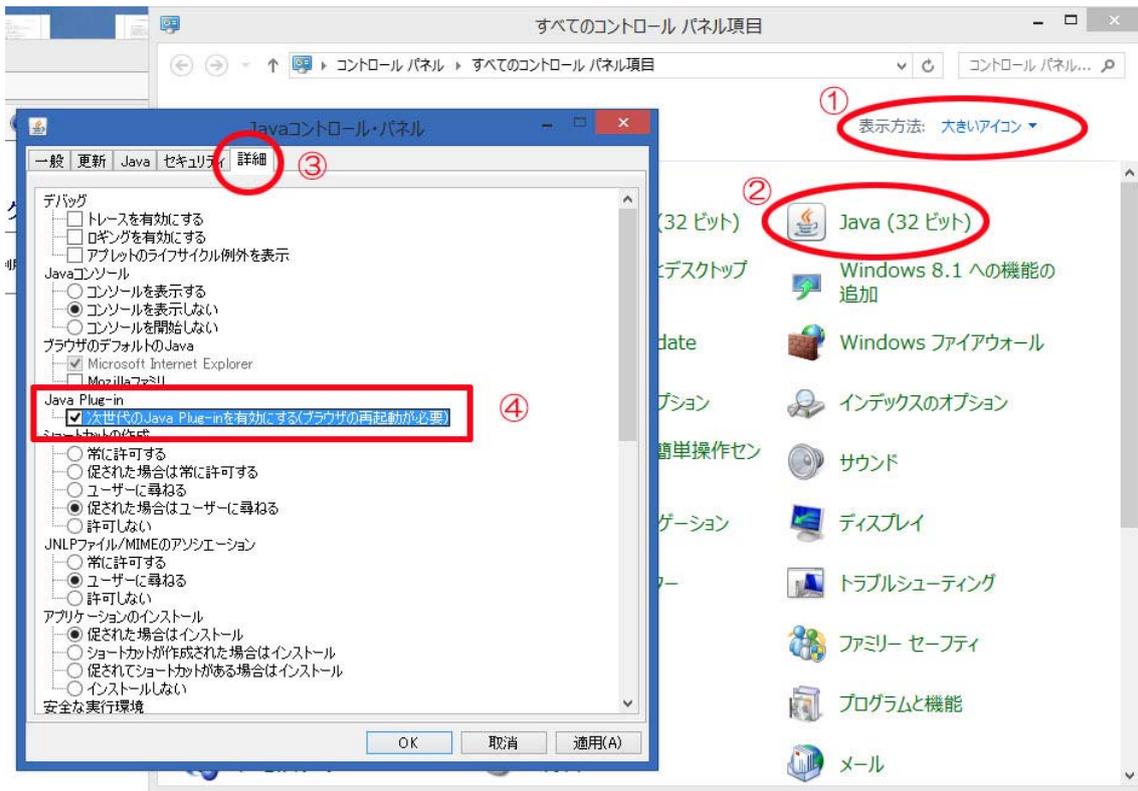


図 2

